

共同生活援助

悠楽ホーム

福祉作業所

WORKLE

ニュースレター

Vol.23

2026年3月号

編集：り

代表からみなさまへ

新年度前、福祉事業所が最も忙しい理由

新年度の前後は、福祉事業所にとって一年で最も忙しい時期です。障害福祉サービスは、一般的な会社のように「商品やサービスを販売して売上を作る」仕組みではなく、国の制度に基づく報酬（実際に行った福祉サービスに対して国から支払われる対価）で運営されています。

3月から4月にかけては、新年度の準備が集中する時期です。グループホームでは例えば、「今年度の「平均利用者人数」の算出」「国の基準に沿った職員数の配置・各種加算（職員配置や研修など一定の条件を満たすことで追加される報酬）」の取得に向けた計画届や変更届の提出などを期限内に行います。さらに、法人全体の運営状況の報告義務があるため、近年では法人の決算書を提出する必要もあります。このような国からの要件を一つ一つ満たしていくことで、障害福祉分野でも人材が定着し、支援力が高まり、より安心・安全な業界の組織体質へと変化してきていることを実感しています。

私自身、業界に関わる前は「福祉は給与面で不遇な仕事」というイメージを持っていました。しかし近年では、処遇改善加算（福祉職員の給与改善を目的とした制度）や居住支援特別手当など、物価の上昇や人材確保に合わせた補助が行われるようになってきました。今回も、2027年の報酬改定を待たずに、福祉人材の賃上げを支援するための「処遇改善緊急支援事業」という補助制度が実施されることになりました。また、現役で働く年金受給者の収入上限額も引き上げられるなど、グループホームなどで働く高齢者の方々への配慮も進められています。事業所の努力だけに任せるのではなく、国としても福祉人材を支えていこうという制度が、少しずつ整ってきているように感じています。

障害福祉の事業は、制度理解や書類業務など決して簡単ではありませんが、こうした仕組みの積み重ねが、利用される方々の安心した生活を支える基盤になっていると感じています。これからも制度の変化に対応しながら、地域の中で安心して暮らせる環境づくりに取り組んでいきたいと思ひます。

そして同時に、職員一人ひとりが安心して働き、輝ける職場づくりも大切にしていきたいと考えています。

代表の
たかぎです



悠楽
ホーム

満室



WOR
KLE

見学受付中
利用者募集中



悠楽
治療院

鍼灸師募集中
※詳細はお問合せください

お気軽にお問合せください！



綺麗な一軒家。男性向けの共同生活型で、夜間はスタッフが常駐、食事は手作りで皆さんに喜ばれております。現在満室です。



1階は作業室、2階は食堂兼休憩室。利用曜日、利用時間の相談できます。手作りの昼食はお好きな日のみの注文可能です。



悠楽に興味をお持ちの鍼灸師さん、お話させてください。

悠楽治療院

担当：トシヒデ

「指がカクッ」ばね指ってなに??

指が曲がったまま戻らない。

無理に伸ばすと「カクッ」と弾ける。それは「ばね指」かもしれません。そこに至るまでには、腱鞘炎の状態があったと考えられます。炎症は「治るための反応」です。赤く腫れて、一見悪い状態に感じやすいですが、傷ついた組織の修復過程です。

ただ炎症が長く続くと腱の滑りが悪くなる「滑走障害」が生じます。

- ①組織の癒着化（硬くなる）
- ②組織の肥大化
- ③周囲組織との癒着

腱が腱鞘の中で引っ掛かり「カクッ」と弾けるような動きが時々起こります。これがばね指（弾発指）です。

炎症が起きたときには、組織変性を残さないように、なるべく早く回復期へ向かうことが大切です。

- ①炎症期のコントロール
- ②疼痛の緩和
- ③筋肉疲労の緩和

上の3つを目的として施術を行います。

例えば、お灸によって修復中の組織に軽い刺激を与えることで、炎症反応を適度に促し、結果として炎症期の短縮を目指します。スポーツ現場では炎症期間の短縮のためのお灸、再発予防を目的としたテーピング固定などを組み合わせ、「攻め」と「守り」のケアがよく行われています。

炎症期に対する施術後は、痛みが軽くなることが多いですが、翌朝に痛みが戻る場合があります。就寝中に組織が変化するため、必ずしも悪化しているわけではありません。そのため、「翌朝は少し痛みが戻る可能性があります」とあらかじめお伝えしています。

回復には、日に日に良くなる流れを作ることが大切です。痛みに対する感受性や生活状況は人それぞれ。痛みよりも予定や気持ちを優先してしまうと、炎症期のコントロールが難しくなることもあります。身体の声聞きながら、無理をせず回復を目指していきましょう。

最後に慢性化した明らかな腱結節や、糖尿病・更年期などによる腱鞘の構造的変性が強い場合には、局所施術のみでの改善が難しいこともあります。指が引っかかる、手を温めると動かしやすくなるなど、初期の段階であれば腱の滑走性が回復するケースも少なくありません。

もしばね指や指の引っかかりでお困りの方がいらっしゃいましたら、お気軽にご相談ください。

悠楽ホーム

担当：T

👤 悠楽ホーム イベント 🌸

季節の行事を楽しみました。
2月のバレンタインデーには、ホームから利用者の皆様へお菓子をお配りしました👤



「バレンタインなんですね」と笑顔で受け取られる方も多く、ホーム内は和やかな雰囲気になりました。

また、3月3日のひな祭りには、ちらし寿司を提供しました👤前日からメニュー表を見て楽しみにされている方もいらっしゃり、当日は「おいしいね」と会話も弾み、皆様で季節を感じながら楽しくお食事をされていました。

これからも、季節の行事や日々の小さな楽しみを大切にしながら、皆様笑顔で過ごせる時間を大切にしていきたいと思います。

わーくる WORKLE

担当：G

🌟 WORKLEが開所して気づけば2年🌟

本当にあっという間の2年間でした。メンバーさんも少しずつ増え、以前よりもさらに賑やかな毎日になっています。

作業のスピードも上がり、「納期が間に合わないかも!!」と慌てる場面も、以前より減ってきたように感じます。作業量だけでなく、気持ちの面でも日によってムラや波があるのは当然のこと。この2年の中で「こんなこともあるんだなあ」と、私たち自身も学ぶことや考えることがたくさんありました。



一番難しいのは、自分のご機嫌をとることなのかもしれません😊 そんな日々も含めて、WORKLEらしい毎日をこれからも大切にしていきたいと思っております🌟

3年目もよろしく
お願いいたします。

株式会社 悠楽

〒203-0032 東京都東久留米市前沢4-9-6 小寺ビルF号室

☎ 042-420-9940(代表)

E-MAIL▶▶▶daihyou@39yuraku.net

U R L▶▶▶https://www.houmonhq.com

